

参加者：稲西自治会連合会会長 岩田 俊美 様
稲羽地区民生児童委員協議会会長 可兒 正則 様
青少年育成市民会議推進委員長 奥村 慶民 様
主任児童委員 大塚 道 様
PTA会長 尾山 智子 様
みどり幼稚園園長 浅野 教子 様
更木保育園園長 三宅 弘教 様

<岩田 様>

- ・授業を受ける姿勢はとてもよかった。
- ・見まもり隊で、地域に出ていっているが、相手に対してははっきりきこえるあいさつをしているかという点、少し物足りない。
- ・4年生の2分の1成人式で、一人一人「何歳の時のこと」というように、順番に発表していたが、その中で、ホワイトボードを使って、発表している子がいた。どういったことでそのような発表の形になったか。
→学校場面で言葉で表出することがとても苦手な子である。ホワイトボードでの発表は、本人の意思で決めた。また、担任も学級の仲間もそのことが分かかっていて、支えているし、受け入れている。
また、意思表示ができるようになってきたし、運動面音楽面でも活躍している。

<奥村 様>

- ・とても落ち着いていて良い。
- ・授業も、良かった。
- ・そうじの時間に回った時、目を見てしっかりとあいさつができていた。地域では、そうではないので、違うなと思った。子供達は、場面場面によって違う姿を示すことがわかった。
- ・どこでもあいさつができる子になってほしい。

<可兒 様>

- ・全体的にまじめでおとなしいという印象を受けた。
- ・良いところ、得意なことを伸ばすことが大切。褒めて伸ばすことが子供の成長につながると思う。
- ・交通安全の呼びかけとして地域に立っているが、あいさつや会釈など反応が返ってくる。中学生も、黄色の上着を着ていなくても返ってくる。これは、小さいときから、あいさつの大切さを呼びかけて取り組んでいるからだと思う。あいさつの大切さをひしひしと感じる。地域をよくする。
- ・中学生のあいさつの姿に感心する。→小学校の取組があるから
- ・各務原大橋ができて、交通量の増加が気になる。気をつけてほしい。

<大塚 様>

- ・子供達が、主体的に授業の向かっていてとても良かった。
- ・みんなの前で大きな声で堂々と発表する姿をたくさん見ることができ、練習もたくさんしたと思うが、その成果を発揮できていてよかった。
- ・以前、落ち着かなかった子（読み聞かせに来ていて）が安定して授業に参加していて、成長した子供の姿を見ることができ良かった。

<尾山 様>

- ・旗当番で立っていると、4月より、自発的にあいさつをする子が増えたと思う。
- ・会釈やあいさつも身につけていて良いと思う。
- ・授業では、発表する側と聞いたり見たりする側ともしっかりできていてとても良かった。

<三宅 園長>

- ・ユニバーサルの取組を公表会の資料でも見せていただき、授業のレベルが高いと思う。ついていけない子に対して配慮がされていることがいい。今回の授業は発表の形が多かったので、授業らしい授業を見たかった。
- ・今の子供達は、関わるツールが増え、関わる力が必要とされている。
- ・主張する大人が増えたが、責任や謙虚さも大事。
- ・子供達が失敗しないように手を出す保護者が増えている。幼稚園から、失敗経験で学ぶことを保護者に伝えていきたい。
- ・あいさつについては、「しなさい」という指導ではなく、あいさつの気持ちよさや意味指導をすること、自分からすることがいいという事など、モチベーションを育てることが大切。

<浅野 園長>

- ・姿勢よく、目を見て、大きな声で話す姿、聞いてあげようとする姿が見られ、卒園生の成長を感じた。
- ・園では、園児を具体的に褒めるように心がけている。また、あいさつを時と場合に応じてできるように繰り返し教えている。
- ・学習環境が整っていて、素晴らしい。園でも、刺激の少ない方がいいと、市教委の中島先生から教えてもらった。
- ・困り感の強い子は、幼稚園にもいる。

皆様の意見を聞いて

幼保・小・中の連携。地域とのつながりがとてもとても大切であることが再認識できました。

特に、あいさつは、地域でも幼保・小・中でも共通して取り組めること、また、絆づくりに有効であることが再確認できたと思います。

校区で取り組んだユニバーサルデザインのことも理解していただけて、落ち着いた子供達のことを実感していただきました。